

整形外科学

教授 吉田宗人

助教授 川上 守

講師 谷口泰徳 安藤宗治 築瀬能三 橋爪 洋

助手 中谷如希 中川幸洋 南出晃人 長雄好昭

研究概要

当教室では脊椎・脊髄に関する基礎的・臨床的研究を中心に行っている。基礎研究は臨床との関連性を重視しており、これまでに電気生理学的脊髄モニタリング法の臨床応用、動物モデルを用いた腰部神経根性疼痛メカニズムの解明、細胞組織工学による椎間板再生、骨形成タンパクと人工骨の脊椎固定術への応用、パッチクランプ法による疼痛伝達路の解明、脊柱靭帯骨化症に対する分子生物学的アプローチなどを行ってきた。長寿社会が達成された現在、人々は生活の質の改善を求めており、運動器疾患の治療と撲滅は最重要課題とされている。われわれはこの社会的要求に応えるべく、臨床面で現在、低侵襲手術の研究・開発にも力を注いでいる。また、形成外科・手の外科分野においても微小血管外科やキーンバック病に関する報告を数多く行っている。

以下にその詳細を列挙する。

1. 脊椎外科に関連する基礎的並びに臨床的研究
 - 脊椎内視鏡手術の技術開発と臨床応用に関する研究
 - 脊椎内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの応用に関する研究
 - 脊柱靭帯骨化症関連遺伝子の解析
 - 腰部脊柱管狭窄症の自然経過に関する疫学調査研究
 - 腰椎椎間孔障害の補助診断法としての電気生理学的研究
 - 脱出椎間板組織の吸収過程と神経因性疼痛の制御に関する研究
 - 変性椎間板による神経因性疼痛発現機序とその制御に関する研究
 - パッチクランプ法を用いた脊髄内痛覚伝導路に関する研究
 - 焼成骨 (true bone ceramic, TBC) の脊椎固定材料としての有用性に関する研究
 - 術中脊髄機能モニタリングに関する基礎的・臨床的研究
2. 骨髄幹細胞による骨・靭帯・関節組織の再生に関する研究
 - 培養椎間板細胞を用いた椎間板再生に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた脊椎固定術に関する研究
 - 骨髄幹細胞を用いた靭帯再建術に関する研究
3. 骨形成タンパク(OP-1)の臨床応用に関する研究
 - 骨形成タンパクによる変性椎間板の再生と神経因性疼痛抑制に関する研究
 - 骨形成タンパクによる脊椎固定術に関する研究
4. その他
 - キーンバック病に関する臨床的研究
 - マイクロサージェリーを用いた機能再建術に関する臨床的研究
 - 小児上腕骨顆上骨折の装具療法の研究

◇著書

- 1, 吉田宗人、麻殖生和博：腰部椎間板ヘルニア-経皮的手術- OS NOW 新世代の整形外科手術 スポーツ整形外科の手術 NO. 21 157-162, 2004
- 2, 川上 守：診断と治療総論 シンチグラフィー「今日の整形外科治療指針（第5版）」二ノ宮節夫、富士川恭輔、越智隆弘、国分正一、岩谷 力編集 医学書院 東京 pp. 25-26, 2004
- 3, Kawakami M, Tamaki T :Chaper 57. Anterior Lumbar Interbody Fusion. Section IV. Surgery. Degenerative lumbar spondylolisthesis with stenosis : The Lumbar Spine, Third Edition, ISSLS Textbook, edited by Herkowitz HN, Dvorak J, Bell G, Nordin M, Grob D, Lippincot Williams & Wilkins, Philaderphia, pp535-539, 2004
- 4, 谷口泰徳：代謝性疾患と全身性疾患の部分症 上肢の外科 生田義和、土井一輝、三浪明男編集 pp. 231-239 医学書院 東京 2003
- 5, 谷口泰徳：変性疾患、上肢の外科 生田義和、土井一輝、三浪明男編集 pp. 371-374 医学書院 東京 2003
- 6, 谷口泰徳、岩田勝栄：内軟骨腫、手の外科、修復、再建とリハビリテーション 高岡邦夫編集 pp. 180-183 メジカルビュー社 東京 2004
- 7, 谷口泰徳（訳）：傷害の予防と対策 親とコーチのためのスポーツ医学 前島伸一郎、前島悦子 監訳 pp. 49-66 金芳堂 京都 2004
- 8, 石田 治、越智光夫、谷口泰徳：母指化手術、手の外科、修復、再建とリハビリテーション 高岡邦夫編集 pp. 101-105 メジカルビュー社 東京 2004
- 9, 松本卓二：スポーツ障害の予防（頸部損傷）「親とコーチのためのスポーツ医学 by Daniel J Boyle, M.D.」監訳 前島伸一郎 前島悦子 金芳堂 京都 pp43-46, 2004

◇総説

- 1, 川上 守：頸髄症の治療成績評価【特集】脊椎脊髄疾患の治療成績評価を考える 脊椎脊髄 17(1) :31-38, 2004

◇原著

- 1, 吉田宗人、麻殖生和博、角谷英樹、河合将紀、山田 宏、中川幸洋：後方進入脊椎内視鏡視下手術の適応と臨床成績-315例の検討【特集】脊椎脊髄病学 最近の進歩 臨床整形外科 9(4)563-569, 2004
- 2, 吉田宗人、麻殖生和博：腰部脊柱管狭窄症の自然経過-平均11年の追跡調査-【特集】最新腰部脊柱 管狭窄症診療マニュアル Monthly Book Orthopaedics 17(5)43-48, 2004
- 3, 吉田宗人：脊椎内視鏡手術の光と影 臨床整形外科 39(5)621-622, 2004
- 4, 吉田宗人：整形外科におけるスキルトレーニングの必要性 整形・災害外科 47(1)1, 2004
- 5, 吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博：内視鏡視下ヘルニア摘出術（MED法）【特集】運動器疾患と炎症 Arthritis 2(3)166-174, 2004
- 6, 吉田宗人、山田 宏、麻殖生和博、中川幸洋、野村和教：頸椎疾患に対する後方進入内視鏡視下手術の展望【特集】整形外科における関節以外の内視鏡手術 整形 災害外科 47(12)1461-1467, 2004
- 7, 吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人：腰椎椎看板ヘルニアに対する MED の適応と治療成績 日本脊椎脊髄学会雑誌 15(1) : 233, 2004.
- 8, Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Yoshida M, Kuribayashi K :Osteogenic Protein-1 (OP-1/BMP-7) inhibits degeneration and pain-related behavior induced by chronically compressed nucleus pulposus in the rat : Transaction of Orthopedic Research Society :29:129, 2004.

- 9, 川上 守、橋爪 洋、松本卓二、吉田宗人、玉置哲也：腰部神経根症の基礎と臨床-椎間板組織による疼痛発現を中心に-
臨床整形外科 39(4):431-438, 2004
- 10, 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、谷口 亘：再手術をおこなった腰部脊柱管狭窄症の成績不良の検討
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47:827-828, 2004
- 11, 米延策雄、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、
廣田良夫、福井 充、宮本雅史：頸部脊髄症治療成績判定基準改訂について 日本脊椎外科学会雑誌 15(1):43, 2004
- 12, 高橋和久、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、廣田良夫、
福井 充、宮本雅史、米延策雄：腰痛疾患治療成績判定基準の改訂について 日本脊椎外科学会雑誌 15(1):44, 2004
- 13, 福井 充、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、
廣田良夫、宮本雅史、米延策雄：改訂作業の考え方と手順 日本脊椎外科学会雑誌 15(1):44-49, 2004
- 14, 和田英路、廣田良夫、田中 隆、福井 充、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、
千葉一裕、宮本雅史、戸山芳昭、米延策雄：頸髄症重症度判定基準としての10秒テストの有用性について 日本脊椎外科学会雑誌 15(1):156, 2004
- 15, 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、谷口 亘、山田 宏、松本卓二、玉置哲也：再手術を要
した腰部脊柱管狭窄症の検討 日本脊椎外科学会雑誌 15(1):349, 2004
- 16, Kawakami M, Matsumoto T, Hashizume H, Kuribayashi K, Chabinskaya S, Yoshida M : OSTEOGENIC PROTEIN-1 (OP-1/BMP-7)
improves pain related behavior and disc degeneration induced by chronically mechanical compression to the
intervertebral disc in the rat. Program and Abstract Book of 5th International BMP meeting 139, 2004
- 17, 川上 守、橋爪 洋、松本卓二、栗林恒一、Susan Chabinskaya、吉田宗人：椎間板再生による疼痛発現とその制御
日本整形外科学会雑誌 78(8):s756, 2004
- 18, Taniguchi Y, Iwata S, Honda T, Yoshida M : Reconstruction of soft-tissue defects in the extremities with free flaps.
Journal of Reconstructive Microsurgery 19:580, 2003
- 19, Taniguchi Y, Yoshida M, Iwata S, Kitano T, Kitano Y. Clinical results of Kienböck's disease in elderly patients.
Journal of the Japanese Orthopaedic Association 78:S346, 2004
- 20, 谷口泰徳、中根康博、岩田勝栄：結晶誘発性肘関節炎 日本肘関節学会雑誌 11:141-142, 2004
- 21, 谷口泰徳、岩田勝栄、北野陽二、峠 康：偶然に発見されたキーンバック病 日本手の外科雑誌 21:313-314, 2004
- 22, 谷口泰徳、岩田勝栄、北野陽二、峠 康、吉田宗人：高齢者におけるキーンバック病の治療成績 日本手の外科雑誌
21:518-521, 2004
- 23, 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人、野村和教、玉置哲也：腰椎椎間孔部狭窄の診断におけ
る
SNAPの有用性についての検討 脊髄機能診断学 26:119-122, 2004
- 24, 安藤宗治、高見正成、筒井俊二、中川幸洋、南出晃人、松本卓二、橋爪 洋、川上 守、吉田宗人：腰椎椎間孔狭窄の診
断
に対する感覚神経活動電位の利用 日整会誌 78(3):S187, 2004
- 25, 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人、玉置哲也、野村和教：腰椎椎間孔狭窄の診断における
知
覚神経活動電位の有用性の検討 日本脊椎脊髄学会雑誌 15(1):164, 2004

- 26, 築瀬能三、松崎交作、大浦晴夫、長雄好昭、吉田宗人：特発性大腿骨頭壊死症に対する人工骨頭 人工股関節置換術
中部整災誌 47:1083-84, 2004
- 27, 築瀬能三、長雄好昭、中根康博、宮崎展行、納田和博：肩鎖関節脱臼に合併した烏口突起骨折 肩峰骨折の1例 肩関節
28(2)389-391, 2004
- 28, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、中川幸洋、玉置哲也、高見正成：
頸髄症患者における末梢神経幹電気刺激による10秒間テストの変化-巧緻運動障害の予後を予測する手法として- 脊髄機
能診 Vol. 26, No1:90-93, 2004
- 29, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博、谷の上かや、吉田宗人、時永泰行、岩橋静江：脊椎疾患における
MEDを用いた側臥位手術の導入 和歌山医学 55(2), 2004
- 30, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博、吉田宗人：C2付着筋を温存した laminoplasty 和歌山医学55(2), 2004
- 31, 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、山田 宏、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、岩崎 博、筒井俊二：軸椎を含
む
後方支持組織温存拡大術後の軸性疼痛について 日整会誌 78(3):S177, 2004
- 32, 橋爪 洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、山田 宏、松本卓二、中川幸洋、南出晃人、岩崎 博、筒井俊二、中尾慎一：
頸椎脊柱管拡大術後の頸椎カラー装着期間が手術成績に及ぼす影響 日本脊椎脊髄学会雑誌 15(1):30, 2004
- 33, 松本卓二、Howard An、Eugene Thonar、川上 守、舛田浩一：椎間板再生における遺伝子治療と成長因子について
-Osteogenic protein-1の及ぼす効果に関する研究- 日本整形外科学会雑誌 78(8):s811,2004
- 34, 松本卓二、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、吉田宗人：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対する脊椎後方短縮術の合併症と後弯角の
変化についての検討 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 417:517-518,2004
- 35, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対する前方固定術と脊椎後方短縮術の合併
症と後弯角の変化についての検討 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47:675-676,2004
- 36, 松本卓二、川上 守、玉置哲也、橋爪 洋：Summit PCR (lateral mass screw and rod system)を用いた頸椎後方固定術に
ついての検討 日本脊椎脊髄病学会雑誌 15(1):278,2004
- 37, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、玉置哲也：Summit PCR (lateral mass screw and rod system)を用いた頸椎後
方固定術についての検討 第13回日本脊椎インストルメンテーション学会抄録集 146-147,2004
- 38, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対する前方固定術と脊椎後方短縮術の合併
症と後弯角の変化についての検討 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47(春季学会号):26,2004
- 39, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：Summit PCR (lateral mass screw and rod system)を用いた頸椎後
方固定術についての検討 中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47(春季学会号):156,2004
- 40, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：頸椎後側弯変形を伴った von Recklinghausen 病の一例 中部日本
整形外科災害外科学会雑誌 47(秋季学会号):31,2004
- 41, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：後方支持組織温存脊柱管拡大術後のC7棘突起と軸性疼痛について
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47(秋季学会号):95,2004
- 42, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、谷口 亘：Microendoscopic discectomy(MED)を行った
腰椎椎間板ヘルニア患者のクリニカルパスについての検討 日本最小侵襲整形外科学会誌 J. Jpn. Soc. MIOS: Vol14
(1)5-7, 2004
- 43, 中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博、谷口 亘：腰椎変性すべり症に対する microendoscopic laminotomy.
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 47:835-836, 2004
- 44, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：胸椎OPLLに対する治療 中部整形外科災害外科 学会雑誌
47:1011-1012, 2004
- 45, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、岩崎 博、延與良夫、岡田基宏、下藺英史、玉置哲也、
水本一弘、畑埜義雄：脊椎脊髄手術時における術中脊髄機能モニタリング 神経麻酔・集中治療 2004:7-9, 2004

- 46, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博、谷口 亘：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術と従来法の比較検討 日本脊椎脊髄学会雑誌 15(1):78, 2004.
- 47, 下藪英史、岡安 勤、玉置哲也：麻痺性股関節亜脱臼・脱臼に対する股関節周囲筋解離術及びBarr 変法-術後5年以上経過例の検討 脳性麻痺の外科研究会誌 14:17-20, 2004
- 48, Minamide A, Kawakami M, Hashizume H, Sakata R, Tamaki T. Experimental study of carriers of bone morphogenetic protein used for spinal fusion. J Orthop Sci. 2004, 9:142-51.
- 49, Hutton WC, Murakami H, Li J, Elmer WA, Yoon ST, Minamide A, Akamaru T, Tomita K. The effect of blocking a nutritional pathway to the intervertebral disc in the dog model. J Spinal Disord Tech. 2004, 17:53-63.
- 50, Louis-Ugbo J, Murakami H, Kim HS, Minamide A, Boden SD. Evidence of osteoinduction by Grafton demineralized bone matrix in nonhuman primate spinal fusion. Spine. 2004, 29:360-6.
- 51, 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、谷口 亘：頸椎後弯は頸椎症性脊髄症に対する後方支持組織温存脊柱管拡大術の治療成績に影響しない 中部整災誌 47:681-2, 2004
- 52, 南出晃人、吉田宗人、川上 守、橋爪 洋：培養未分化間葉系幹細胞を脊椎固定術へ応用した実験的研究 日本脊椎脊髄学会雑誌 15(1):142, 2004
- 53, 南出晃人、吉田宗人、山崎 悟、小島博嗣、川上 守、橋爪 洋：rhBMP-2 と培養未分化間葉系幹細胞の脊椎後固定術への応用 日整会誌 78(8):S862, 2004
- 54, 長雄好昭、吉田宗人、築瀬能三、松崎交作、大浦晴夫：膝蓋骨非置換人工膝関節置換術の検討 中部整災誌 47:1003-1004, 2004
- 55, Sonobe H, Nakatsuka T, Takeda D, Taniguchi Y, Tamaki T, Yoshida M. Substance P induced enhancement of inhibitory synaptic transmission in deep dorsal horn. Pain Research 19, 9-16, 2004
- 56, 園部秀樹、中塚映政、武田大輔、谷口泰徳、玉置哲也、吉田宗人：脊髄後角におけるカプサイシン感受性抑制系神経伝達について 脊髄機能診断学 26(1):23-28, 2004
- 57, 園部秀樹、中塚映政、谷口泰徳、吉田宗人：脊髄内痛覚伝達回路におけるサブスタンスPの作用 日本整形外科学会雑誌 78: S968, 2004
- 58, 岩崎 博、玉置哲也、川上 守、山田 宏、橋爪 洋：頸髄症における多椎間圧迫の手術成績に及ぼす影響 中部整災誌 46:101-102, 2002
- 59, 麻殖生和博、岩崎一夫、左海伸夫、角谷昭一、吉田宗人：若年期に生じた腰痛の自然経過 臨床整形外科 39(4):505-511, 2004
- 60, 麻殖生和博、吉田宗人、中川幸洋、角谷英樹、角谷昭一：腰部脊柱管嚢腫に対してMED systemを用いた治療経験 中部整形災害外科学術集会雑誌 47:839-840, 2004
- 61, 山口耕史、浜崎広洋、石口 明、延與良夫：Distal Femoral Nail (DFN) による大腿骨顆部・顆上部骨折の治療 整形・災害外科 47(7):901-910, 2004
- 62, 湯田啓之、石河利広、角谷昭一、吉田宗人：坐骨結筋骨端症の2例 関西臨床スポーツ医・科学研究会誌 14:33-35, 2004
- 63, 阪中淳也、中川幸洋、檀上茂人、毛保浩明、中根康博：嚢化障害をきたした頸椎前縦帯骨化症の3例 中部整災誌 47:967-968, 2004
- 64, 阪中淳也、中川幸洋、栗本公博、檀上茂人、毛保浩明：頸髄症を合併した頸椎前縦帯骨化症の1例 整形外科 55:1543-1546, 2004

- 65, 中尾慎一、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、山田 宏：長期透析患者における脊椎手術後の合併症の検討 中部日本整形外
科災害外科学会雑誌 47(4):653-654, 2004
- 66, 本田高幹、松崎文作、築瀬能三、吉田宗人、中谷如希：Wagner SL revision stem を用いた人工股関節再置換術の検討
中部整災誌 47:1089-1090, 2004
- 67, 本田高幹、谷口泰徳、大浦晴夫、南 晋司、吉田宗人：悪性骨腫瘍切除後の再建に血管柄付き腓骨移植を行った症例につ
い
での検討 中部日本整形災害外科学会雑誌 47:147-148, 2004
- 68, 岩田勝栄、谷口泰徳、北野岳史、吉田宗人：後骨間神経終末枝を利用した神経移植による指神経断裂の治療経験
和歌山医学 55:130, 2004
- 69, 岩田勝栄、谷口泰徳、大浦晴夫、本田高幹、石元優々、吉田宗人：上腕部引き抜き切断端をFree Fillet Flap で被覆した
1例 和歌山医学 55:59, 2004
- 70, 岩田勝栄、谷口泰徳、石元優々、北野岳史、吉田宗人：剣道選手に発生した左小指中手指節(MP) 関節の離断性骨軟骨炎の1
例 臨床整形外科 39(5):757-760, 2004
- 71, 岩田勝栄、谷口泰徳、大浦晴夫、本田高幹、石元優々、吉田宗人：上腕部引き抜き切断端をfree fillet flap で被覆し
た1例 臨床整形外科 39(11):1467-1470, 2004
- 72, 金川建彦、谷口泰徳、峰 巨、長雄好昭、大浦晴夫、安藤宗治、吉田宗人：骨内ガンリオンによる肘部管症候群の1例
中部日本整形災害外科学会雑誌 47:604, 2004
- 73, 北野岳史、谷口泰徳、岩田勝栄、北野陽二、吉田宗人：上肢皮膚軟部組織欠損に対する血管柄付き皮弁による治療 和歌
山
医学 55:59, 2004
- 74, 森田修平、西山大介、三輪英人、近藤智善：精神症状にて発症したビタミンB1 2欠乏性白質脳症の1例 和歌山医学
55(4):211-213, 2004

◇その他の論文

- 1, 湊 純、岡安 勤、相澤幸代：「発達障害児のリハビリテーションの標準化と地域における肢体不自由児施設の機能に関
する研究」平成15年度研究報告書 全国に共通する評価の作成 変形・拘縮の評価 53-58, 2004
- 2, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、谷口 亘：頸胸椎OPLLに対する広範囲脊柱管拡大術の
術後成績 厚生労働省科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業 平成15年度脊柱靭帯骨化症に関する調査研究
第2回班会議 東京都 2004. 1
- 3, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人：当科における胸椎OPLLに対する治療戦略 厚生労働科
学研究費補助金 難知性疾患克服研究事業 平成16年度脊柱靭帯骨化症に関する調査研究 胸椎部後縦靭帯骨化症の手術
治療についての検討会 東京都 2004. 4

◇学会報告

a) 国際学会

[受賞]

- 1, Minamide A: The role of the sternum, costosternal articulations, intervertebral disc, and facets in Thoracic sagittal plane
biomechanics and deformity correction: A comparison of three different sequences of surgery. Russell S. Hibbs Basic Science
Award in the Scoliosis Research Society, 2004

[発表]

- 1, Yoshida M, Maio K, Yamada H, Kawakami M, Hashizume H, Minamide A, Nakagawa Y: Natural history of the lumbar canal stenosis-A long term follow up study of average 11 years, 13th European Forum of GICD organized by the Board of Directors of GICD Europe (Spine Week), Porto, Portugal, May 30-June 5, 2004
- 2, Yoshida M, Maio K, Nakagawa Y, Minamide A, Ando M, Kawakami M: Indication and clinical outcomes of posterior endoscopic surgery for lumbar and cervical radiculopathy 13th European Forum of GICD organized by the Board of Directors of GICD Europe (Spine Week), Porto, Portugal, May 30-June 5, 2004
- 3, Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Minamide A, Ando M, Yoshida M, Kuribayashi K: Osteogenic protein-1 (OP-1) injected into degenerative intervertebral disc inhibits radicular pain. 13th European Forum of GICD organized by the Board of Directors of GICD Europe (Spine Week), Porto, Portugal, May 30-June 5, 2004
- 4, Kawakami M, Hashizume H, Matsumoto T, Yoshida M, Kuribayashi K: Osteogenic Protein-1 (OP-1/BMP-7) inhibits degeneration and pain-related behavior induced by chronically compressed nucleus pulposus in the rat, Fifty Annual Meeting of the Orthopaedic Research Society, San Francisco, California, March 7-10, 2004
- 5, Kawakami M, Matsumoto T, Hashizume H, Kuribayashi K, Chubinskaya S, Yoshida M: Osteogenic protein-1 (OP-1) improves pain-related behavior and disc degeneration induced by chronically mechanical compression to the intervertebral disc in the rat, 5th International Conference on Bone Morphogenetic Proteins, 2004, Nagoya, Japan September 12-16, 2004
- 6, Taniguchi Y, Yoshida M, Iwata S, Kitano T, Kitano Y. Clinical results of Kienböck's disease in elderly patients. International Session. The 77th Annual Meeting of the Japanese Orthopaedic Association. Kobe, Japan, 2004, 5.
- 7, Ishida O, Sunagawa T, Ochi M, Taniguchi Y. Pollicization of the index finger. The 59th Annual Meeting, American Society for Surgery of The Hand. New York, USA, 2004, 9.
- 8, Taniguchi Y, Iwata S, Kitano T, Kitano Y, Yoshida M: Vascularized Fibular Osteocutaneous Graft For Severely Infected Wrist Arthritis. First Japanese-Italian Hand Club, Osaka, Japan, 2004, 11.
- 9, Taniguchi Y, Ishida O, Ikuta Y, Tsuge K: Reconstruction of Thumb with Pollicization. 11^{eme} Reunion de la Societe Franco-Japonaise d'Orthopedie, Osaka, Japan, 2004, 11.
- 10, Taniguchi Y, Iwata S, Kitano Y, Ishimoto Y, Yoshida M: Kienböck's disease in elderly patients. 5th Congress of the Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand. Osaka, 2004, 11.
- 11, Ishida O, Sunagawa T, Suzuki O, Ochi M, Taniguchi Y. Pollicization of the index finger. 5th Congress of the Asian Pacific Federation of Societies for Surgery of the Hand. Osaka, 2004, 11.
- 12, Ando M, Kawakami M, Hashizume H, Minamide A, Yoshida M, Nomura K, Tamaki T: SNAP in the Diagnosis of the Foraminal Stenosis of Lumbar Spine. 7th International evoked potentials symposium, 2004. 10. Fukuoka
- 13, Hashizume H, Yoshida M, Kawakami M, Iwasaki H, Ando M, Yamada H, Matsumoto T, Nakagawa Y, Minamide A, Tsutsui S: Does the Multi-Level Compression Influence on the Surgical Outcome of the Patients with Cervical Myelopathy? A Case Control Study. Cervical Spine Research Society - European Section at Combined Meeting of Leading Scientific Spine Societies. Porto, Portugal, May 30-June 5, 2004.
- 14, Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Andou M, Hashizume M, Minamide A, Maio K, Enyo Y, Okada M, Nakao S: Posterior microendoscopic decompression using facet preserving technique for degenerative spondylolisthesis. The 4th Pacific Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2004. 8. 19-21, Jeju, Korea.
- 15, Nakagawa Y, Yoshida M, Kawakami M, Andou M, Hashizume H, Minamide A, Maio K, Enyo Y, Okada M, Nakao S: Clinical outcome of microendoscopic decompression for lumbar spinal canal stenosis - comparison with conventional methods- The 4th Pacific Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2004. 8. 19-21, Jeju, Korea.
- 16, Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Hashizume H, Yamasaki S, Kojima H. The Use of Cultured Bone Marrow Cells in Type I Collagen Gel and Porous Hydroxyapatite for Posterolateral Lumbar Spine Fusion. 31th Annual Meeting of the International Society for the Study of the Lumbar Spine. June 2-5, 2004. (Porto, Portugal)
- 17, Minamide A, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H, Nakagawa Y, Taniguchi W. The Influence on the Kyphosis of Cervical Spine

- to the Clinical Outcome in Patients with Cervical Spondylotic Myelopathy Treated with Expansive Laminoplasty. Cervical Spine Research Society European Section Annual Meeting. May 31–June 1, 2004. (Porto, Portugal)
- 18, Horton WC, MD, Kraiattanapong C, Akamaru T, Minamide A, Park MS, Hutton WC. The Role of the Sternum, Costosternal Articulations, Intervertebral Disc, and Facets in Thoracic Sagittal Plane Biomechanics and Deformity Correction: A comparison of three different sequence of surgery. 39th Scoliosis Research Society Annual Meeting. September 6–9, 2004. (Buenos Aires, Argentina)
- 19, Maio K M. D , Yoshida M M. D , Nakagawa Y M. D. : Clinical Result of Microendoscopic discectomy system for lumbar facet cyst PAMISS 韓国済州島 2004. 8
- 20, Nomura K, Yoshida M, Kawakami M, Ando M, Hashizume H : Microendoscopic Posterior Foreminotomy for Cervical Spondylotic Radiculopathy. The 4th Pacific Asian Society of Minimally Invasive Spine Surgery, 2004. 8, Jeju, Korea

b) シンポジウム、学術講演等

[シンポジウム]

- 1, Yoshida M: Posterior Endoscopic Decompression for Lumbar Canal Stenosis, ELSA REGIONAL MEETING & WORLD CONGRESS OF GASLESS LAPAROSCOPIC SURGERY, Grand-Hyatt-Bali, Sep 26-29, 2004
- 2, Yoshida M: The MED system can expand the indication for posterior endoscopic surgery in cases of lumbar radiculopathy, 77th Annual Congress of Japanese Orthopaedic Association, Kobe, Japan, May 20-23, 2004
- 3, 川上 守、橋爪 洋、松本卓二、栗林恒一、Susan Chabinskaya、吉田宗人：椎間板再生による疼痛発現とその制御 第19回日本整形外科学会基礎学術集会 シンポジウム5 東京都 2004.10
- 4, 安藤宗治、中川幸洋、延與良夫、岡田基宏、吉田宗人、岩 博、野村和教、玉置哲也：脊髄機能モニタリングの有用性と問題点 第34回日本臨床神経生理学学会 東京都 2004.11
- 5, 松本卓二、Howard An, Eugene Thonar、川上 守、舛田浩一：椎間板再生における遺伝子治療と成長因子について -Osteogenic protein-1の及ぼす効果に関する研究- 第19回 日本整形外科学会基礎学術集会 シンポジウム9 東京都 2004.10
- 6, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対する前方固定術と脊椎後方短縮術の合併症と後弯角の変化についての検討 第102回中部日本整形外科学会災害外科学会 松山 2004.3
- 7, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、延与良夫、岡田基宏、岩崎 博、下園英史、玉置哲也：「脊髄損傷・虚血の予防と対策」 脊椎脊髄手術における術中脊髄機能モニタリング 第8回日本神経麻酔・集中治療研究会 札幌 2004.6
- 8, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、麻殖生和博：「各科における低侵襲医療」腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下手術の成績と低侵襲性 第72回和歌山医学会総会 橋本市 2004. 7

[学術講演]

- 1, 吉田宗人：腰痛との上手な付き合い方-最新の治療- 和歌山青年会議会議所6月度例会 和歌山県 2004. 6
- 2, 吉田宗人：後方進入脊椎内視鏡手術の課題と展望 第4回大阪臨床整形外科医会研修会 大阪府 2004. 7
- 3, 吉田宗人：腰部神経根障害の多様性と対策 和歌山県医師会整形外科部会学術講演会 和歌山県 2004. 8
- 4, 吉田宗人：腰椎変性疾患の診断と治療 第2回日本整形外科学会認定脊椎脊髄内医研修会 大阪府 2004. 9
- 5, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下徐圧術の実際 第31回岡山県整形外科勤務医会学術講演会 岡山県 2004. 9
- 6, 吉田宗人：腰痛と坐骨神経痛に対する手術療法について、最新の低侵襲手術法を中心に 和歌山県臨床整形外科医会「骨と関節の日」和歌山県 2004. 10
- 7, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過からみた治療法の選択 岐阜県整形外科集団学術講演会 岐阜県 2004. 10
- 8, 吉田宗人：一般診療における腰部脊柱管狭窄症の診断と治療 和歌山県医師会内科医会学術講演会 和歌山県 2004. 11
- 9, 吉田宗人：スポーツ選手にみられる腰部椎間板障害とMEDの有用性 第13回北海道整形外科スポーツ医学研修会 札幌市 2004. 11
- 10, 吉田宗人：腰部神経根障害の多様性と対策 第83回奈良県医師会整形外科部会例会 奈良県 2004. 12

- 11, 吉田宗人：腰部神経根障害に対する内視鏡手術の実際 第265回九州大学医学部整形外科MOC会 福岡県 2004.12
- 12, 吉田宗人：脊椎内視鏡手術におけるスキル形成について 関東地区整形外科勤務医会学術講演会 東京都 2004.12
- 13, 川上 守：腰部脊柱管狭窄症の診断と治療 道北プロスタグランディン研究会 旭川市 2004.2
- 14, Kawakami M: Treatment for osteoporotic vertebral collapse A0 Interactive Spine Seminar Kobe 神戸市 2004.3
- 15, Kawakami M: Pitfalls in lumbar surgery A0 Interactive Spine Seminar Kobe 神戸市 2004.3
- 16, Kawakami M: Biologic manipulation of degenerative disc disease OP-1 for the Treatment of Vertebral Disc Disease. A Discussion of Clinical Utility 2004.6 Porto, Portugal
- 17, 川上 守：むち打ち損傷のEBMは日常診療に役立つか？ 第79回和歌山臨床整形外科医会研修会 和歌山県 2004.7
- 18, 川上 守：変性椎間板症に対する新しい治療戦略-BMP-7を用いて 第22回脊椎外科を学ぶ会 大阪府 2004.9
- 19, 川上 守：頸部捻挫の治療成績と最近の知見 自賠責保険に係る研修会（和歌山県交通事故医療協議会） 和歌山県 2004.9
- 20, Kawakami M: AIS – Aetiology, classification, outcome, prognosis 10th A0 Interactive Spine Course Tokyo 東京都 2004.9
- 21, Kawakami M: Representative case presentation: Failed back surgery 10th A0 Interactive Spine Course Tokyo 東京都 2004.9
- 22, 川上 守：腰痛一疫学・病態・保存療法・予防 骨と関節の日 記念講演 和歌山県 2004.10
- 23, 川上 守：腰部脊柱管狭窄症の最近の知見 新宮市・東牟婁・紀南地区医師会学術講演 和歌山県 2004.10
- 24, 紺野慎一、川上 守、田口敏彦、千葉一裕 急性腰痛の最新の治療 THE SPINE perspectives 東京都 2004.11
- 25, 谷口泰徳：手関節部疾患の診断と治療。（教育講演）第80回和歌山臨床整形外科医会部会研修会。和歌山市、2004/8/28
- 26, 谷口泰徳：四肢の救急外傷の治療。（教育講演）平成16年度有田市医師会救急医療研修会。和歌山県有田市、2004/10/2
- 27, 山田 宏：後縦帯骨化症の理解とつきあい方 新宮市市民公開講座 新宮市 2004.3
- 28, 山田 宏：脊柱のしくみとその病気について 第58回地域リハビリテーション講座 新宮市 2004.3
- 29, 麻殖生和博：腰椎椎間板ヘルニアに対する内視鏡手術 那賀医師会 那賀医師会 那賀郡 2004.10

c) パネルディスカッション

- 1, 吉田宗人：後方進入内視鏡視下腰部椎間板ヘルニア摘出術のスキル形成について 第77回日本整形外科学会学術総会 神戸 2004.5

d) 全国学会

- 1, 吉田宗人：後方進入脊椎内視鏡下手術のスキル形成—安全な手術操作を目指して— 第7回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 東京都 2004.11
- 2, 吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博：腰部脊柱管狭窄症に対する後方進入内視鏡視下除圧術 第17回日本内視鏡外科学会総会 横浜 2004.11
- 3, 吉田宗人、中川幸洋、麻殖生和博、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人：腰椎椎間板ヘルニアに対するMEDの適応と治療成績 第33回日本脊椎脊髄病学会 東京都 2004.6
- 4, 米延策雄、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、廣田良夫、福井 充、宮本雅史：頸部脊髄症治療成績判定基準改訂について 第33回日本脊椎外科学会 東京都 2004.6
- 5, 高橋和久、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、廣田良夫、福井 充、宮本雅史、米延策雄：腰痛疾患治療成績判定基準の改訂について 第33回日本脊椎外科学会 東京都 2004.6
- 6, 福井 充、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、田中 隆、千葉一裕、戸山芳昭、廣田良夫、宮本雅史、米延策雄：改訂作業の考え方と手順 第33回日本脊椎外科学会 東京都 2004.6
- 7, 和田英路、廣田良夫、田中 隆、福井 充、川上 守、菊地臣一、紺野慎一、白土 修、星地亜都司、高橋和久、竹下克志、千葉一裕、宮本雅史、戸山芳昭、米延策雄：頸髄症重症度判定基準としての10秒テストの有用性について 第33回日本脊外科学会 東京都 2004.6
- 8, 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、谷口 亘、山田 宏、松本卓二、玉置哲也：再手術を要した腰部脊柱管狭窄症の検討 第33回日本脊椎外科学会 東京都 2004.6
- 9, 川上 守、橋爪 洋、松本卓二、栗林恒一、Chubinskaya Susan、吉田宗人：椎間板変性による疼痛発現とその制御 第19回日整会基礎学術集会 東京都 2004.10

- 10, 小畑 淳, 川上 守, 宮崎展行, 中村了生: いわゆる頸椎むち打ち損傷の健康調査—SF-36 を用いて 中部日本整形外科・災害外科学会 第 103 回学術集会 神戸市 2004. 11
- 11, 谷口泰徳, 谷口 亘, 岩田勝栄, 吉田宗人: 結晶誘発性肘部管炎. 第 16 回日本肘関節学会、京都市, 2004/2/21.
- 12, 谷口泰徳, 北野岳史, 岩田勝栄, 吉田宗人: 肩甲皮弁による四肢皮膚軟部組織欠損の治療成績 第 47 回日本形成外科学会 東京 2004/ 4/ 8.
- 13, 谷口泰徳, 岩田勝栄, 北野陽二, 峠 康, 吉田宗人: 高齢者におけるキーンバック病の治療成績 第 47 回日本手の外科学会, 大阪市, 2004/4/22.
- 14, 谷口泰徳, 吉田宗人, 安藤宗治, 北野岳史, 本田高幹, 吉田宗人: 肘部管症候群に対する小皮切による単純神経剥離術の治療成績 第 41 回日本リハビリテーション医学会、東京、2004/6/4.
- 15, 安藤宗治, 高見正成, 筒井俊二, 中川幸洋, 南出晃人, 松本卓二, 橋爪 洋, 川上 守, 吉田宗人: 腰椎椎間孔狭窄の診断に対する感覚神経活動電位の利用. 第 77 回日本整形外科学会 神戸市 2004. 5
- 16, 安藤宗治, 川上 守, 橋爪 洋, 南出晃人, 中川幸洋, 吉田宗人, 野村和教, 玉置哲也: 腰椎椎間孔部狭窄の診断における知覚神経活動電位の有用性についての検討 第 33 回日本脊椎脊髄病学会 東京都 2004. 6
- 17, 築瀬能三, 松崎文作, 佐々木俊二, 長雄好昭, 中根康博, 宮本 選, 吉田宗人: 難治性化膿性股関節炎症例の検討 第 31 回日本股関節学会 長崎 2004. 10
- 18, 山田 宏, 玉置公一, 岡本賢俊, 筒井俊二, 舟津稔博, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 中川幸洋, 玉置哲也, 高見正成: 頸髄症患者における末梢神経幹電気刺激による 10 秒間テストの変化巧緻運動障害の予後を予測する手法として- 第 26 回脊髄機能診断研究会 東京都 2004.2
- 19, 山田 宏, 玉置公一, 岡本賢俊, 阿部唯一, 吉田宗人, 川上 守, 玉置哲也, 高見正成: 頸髄症患者における巧緻運動障害の改善度を予測する手法としての末梢神経幹電気刺激による 10 秒間テストの変化 第 77 回日本整形外科学会 神戸市 2004.5
- 20, 山田 宏, 玉置公一, 岡本賢俊, 阿部唯一, 吉田宗人, 川上 守, 谷口喜行, 河合将紀: 3 次元 MRI を用いた変性腰部脊柱管狭窄症における脊柱管外病変の評価 第 77 回日本整形外科学 神戸市 2004.5
- 21, 橋爪 洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 中川幸洋, 南出晃人, 松本卓二: 腰椎変性すべり症において腰椎矢状面アライメントが後方固定術の術後成績に及ぼす影響 第 13 回日本脊椎インストレーション学会 札幌 2004. 8
- 22, 橋爪 洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 山田 宏, 松本卓二, 中川幸洋, 南出晃人, 岩崎 博, 筒井俊二: 軸椎を含む後方支持組織温存拡大術後の軸性疼痛について 第 77 回日本整形外科学会学術総会 神戸市 2004. 5
- 23, 橋爪 洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 山田 宏, 松本卓二, 中川幸洋, 南出晃人, 岩崎 博, 筒井俊二, 中尾慎一: 頸椎脊柱管拡大術後の頸椎カラー装着期間が手術成績に及ぼす影響 第 33 回日本脊椎脊髄病学会 東京 2004. 6
- 24, 松本卓二, 川上 守, 玉置哲也, 橋爪 洋: 骨粗鬆症脊椎圧迫骨折に対する前方固定術と脊椎後方短縮術の合併症と後弯角の変化についての検討 第 33 回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2004. 6
- 25, 松本卓二, 川上 守, 玉置哲也, 橋爪 洋: Summit PCR (lateral mass screw and rod system) を用いた頸椎後方固定術についての検討 第 33 回日本脊椎脊髄病学会 福岡 2004. 6
- 26, 松本卓二, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 玉置哲也: Summit PCR (lateral mass screw and rod system) を用いた頸椎後方固定術についての検討 第 13 回日本脊椎インストレーション学会 札幌 2004. 8
- 27, 中川幸洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 峠 康, 南出晃人, 北野陽二: 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術-従来法との短期成績及び低侵襲性の比較- 第 41 回日本リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2004. 6
- 28, 中川幸洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 峠 康, 南出晃人, 北野陽二: 腰椎椎間板ヘルニア患者に対する Microendoscopic discectomy (MED) 術後のクリニカルパスについての検討 第 41 回日本リハビリテーション医学会学術集会 東京都 2004. 6
- 29, 中川幸洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 南出晃人, 麻殖生和博, 谷口 亘: 腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術と従来法との比較検討 第 33 回日本脊椎脊髄病学会 東京都 2004. 6
- 30, 中川幸洋, 吉田宗人, 川上 守, 安藤宗治, 橋爪 洋, 南出晃人, 麻殖生和博, 延与良夫, 岡田基宏, 中尾慎一: 腰部脊柱管狭窄症-腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下非固定除圧術-片側椎間関節を温存した両側除圧術- 第 11 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会

さいたま市 2004.9

- 31, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人：頸椎腰椎内視鏡同時手術の一例 第 39 回日本脊髄障害医学会 東京都 2004.11
- 32, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、麻殖生和博、河合将紀、岡田基宏：腰椎後方内視鏡手術後に対側症状を発生した症例について 第7 回日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 東京都 2004.11
- 33, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中谷如希、南出晃人、麻殖生和博：頸髄症に対する後方侵入内視鏡下除圧術 第10 回日本最小侵襲整形外科学会 岡山県 2004.11
- 34, 中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博、谷口 亘：腰椎変性すべり症に対する Microendoscopic laminotomy 第 102 回中部日本整形 外科・災害外科学会 松山 2004.3
- 35, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人：頸椎腰椎内視鏡同時手術の一例 第 39 回日本脊髄障害医学会 東京都 2004.11
- 36, 山崎 悟、松崎文作、南 晋二、金川建彦、木下裕文：透析患者における大腿骨頸部骨折の治療成績 第31 回日本股関節学会学術集会 長崎 2004.10
- 37, 南出晃人、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、谷口 亘：頸椎後弯は頸椎症性脊髄症に対する後方支持組織温存脊柱管拡大術の治療成績に影 響しない 第102 回中部日本整形外科 災害外科学会 松山市 2004.3
- 38, 南出晃人、吉田宗人、川上 守、橋爪 洋：培養未分化間葉系幹細胞を脊椎固定術へ応用した実験的研究 第33 回日本脊椎脊髄病学会 東京都 2004.6
- 39, 南出晃人、吉田宗人、山崎 悟、小島博嗣、川上 守、橋爪 洋：rhBMP-2 と培養未分化間葉系幹細胞の脊椎後固定術への応用 第 19 回 日本整形外科学会基礎学術集会 東京都 2004.10
- 40, 南出晃人、吉田宗人、安藤宗治、中川幸洋、麻殖生和博、延興良夫：後方進入内視鏡手術で遭遇した腰仙部神経根奇形の治療経験 第 39 回日本脊髄障害医学会 東京都 2004.11
- 41, 園部秀樹、中塚映政、武田大輔、谷口泰徳、吉田宗人：脊髄後角におけるカプサイシン感受性抑制系神経伝達について 第 26 回脊髄機能 診 断研究会 東京都 2004.2
- 42, 園部秀樹、中塚映政、谷口泰徳、吉田宗人：脊髄内痛覚伝達回路におけるサブスタンスPの作用 第 19 回日本整形外科学会基礎学術集会 東京都 2004.10
- 43, 麻殖生和博、角谷英樹、角谷昭一、中川幸洋、吉田宗人：上位腰椎椎間板ヘルニアに対するMED 法 日本脊椎脊髄神経手術手技学会 さいたま市 2004.9
- 44, 麻殖生和博、松浦伸一、角谷英樹、角谷昭一、中川幸洋、吉田宗人：硬膜背側に脱出した上位腰椎椎間板ヘルニアに対して MED system を 用 いて加療した2 例 日本内視鏡低侵襲脊椎外科学会 東京都 2004.11
- 45, 野村和教、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、麻殖生和博：頸椎症性神経根症に対する後方進入内視鏡視下 椎間孔開放術 第 11 回日本脊椎・脊髄神経手術手技学会学術集会 さいたま 2003.9
- 46, 中根康博：化膿性肩関節炎の治療経験 第 31 回日本肩関節学会 横浜 2004.10
- 47, 中根康博：人工股関節置換術後脱臼例の検討 第 103 回中部日本整形外科災害外科学会 神戸市 2004.11
- 48, 中根康博、大宝英矢、長雄好昭、築頼能三、谷口泰徳、吉田宗人：化膿性肩関節炎の治療経験 第 31 回日本肩関節学会 横浜 2004.10
- 49, 延興良夫、吉田宗人、安藤宗治、南出晃人、中川幸洋：途絶を認めた腰仙部神経根奇形の一例 第 39 回脊髄障害医学会 東京都 2004.11
- 50, 延興良夫、吉田宗人、安藤宗治、中川幸洋、岡田基宏、野村和教、玉置哲也：椎外側神経根障害診断における知覚神経活動電位測定の意義 (術中神経根電位および術後活動電位の変化) 第 34 回臨床神経生理学学会学術集会 東京都 2004.11
- 51, 延興良夫、南出晃人、中川幸洋、遠藤 徹、安藤宗治、吉田宗人：神経根の途絶を認めた腰仙部神経根奇形の1 例 第 39 回日本脊髄障害

医

学会 東京都 2004.11

52, 中尾慎一、吉田宗人、川上 守、山田 宏、橋爪 洋、榎本 哲：長期透析患者における脊椎手術の臨床的検討 第33回日本脊椎脊髄病学

会 東京都 2004.6

53, 本田高幹、松崎交作、大浦清夫、築瀬能三、長雄好昭、吉田宗人、中谷如希、山口耕史：Wagner SL revision stemを用いた人工股関節再置換術の検討 第34回日本人工関節学会 千葉 2004.1

54, 勝田 紘史、吉田 宗人、橋爪 洋、田島文博、峠 康、佐々木緑：片側の横隔膜麻痺を伴ったC4頸髄損傷で横隔膜麻痺が改善した一例 第39回日本脊髄障害医学会 東京都 2004.11

e) 地方学会

1, 吉田宗人：理学療法・技と知恵—最新の医療と福祉への対応— 第24回近畿理学療法学会 和歌山県 2004.2

2, 吉田宗人：脊椎脊髄損傷の急性期治療と現状の問題点 第27回全国脊髄損傷者連合会近畿ブロック会議和歌山県大会 和歌山県 2004.5

3, 吉田宗人：内視鏡視下脊椎後方手術の現状と展望 第103回中部日本整形外科災害外科学会学術講演会 神戸市 2004.11

4, 小畑 淳、宮崎展行、八幡孝平、田端 孝、中村了生、川上 守：いわゆる頸椎むち打ち損傷の健康調査—SF-36を用いて— 第14回和歌山

県整形外科医会 和歌山県 2004.2

5, 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、谷口 亘：再手術をおこなった腰部脊柱管狭窄症の成績不良の検討 第102回中部整災会 松山市 2004.2

6, 川上 守、吉田宗人、安藤宗治、宮本 選、中村正亨：新しい腰背筋温存腰椎後方除圧・椎体間固定術 第103回中部整災会 神戸市 2004.11

7, 小畑 淳、川上 守、宮崎展行、中村了生：いわゆる頸椎むち打ち損傷の健康調査—SF-36を用いて— 第103回中部整災会 神戸市 2004.11

8, 小畑 淳、川上 守、宮崎展行、八幡孝平、田畑 孝、中村了生：いわゆる頸椎むち打ち損傷の健康調査—SF-36を用いて— 和歌山県整形外科医会 第14回学術集会 和歌山市 2004.2

9, 岡安 勤：先天性内反足治療成績国際評価試案の使用報告 第33回近畿小児整形外科懇話会 大阪市 2004.2

10, 岡安 勤、下薗英史、玉置哲也、中谷如希、松崎交作：当科における先天性内反足の中期治療成績 第34回近畿小児整形外科懇話会 和歌山市 2004.7

11, 谷口泰徳、北野岳史、峰 巨、岩田勝栄、北野陽二、峠 康、吉田宗人：偶然に発見されたキーンバック病。(主題) 第21回中部日本手の

外科研究会 京都市、2004/2/20.

12, 谷口泰徳、北野岳史、岩田勝栄、吉田宗人、上石 弘：上腕部引き抜き切断をfree fillet flapで被覆した1例 第83回日本形成外科関西支部学術集会、 大阪市、2004/12/4.

13, 谷口泰徳、北野岳史、西山大介、吉田宗人、上出康二：手指悪性黒色腫の外科的治療 第6回和歌山体表外科研究会、 和歌山市、2004/11/27

14, 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、中川幸洋、吉田宗人、野村和教、玉置哲也：腰椎椎間孔部狭窄の診断におけるSNAPの有用性に

ついての検討 第26回脊髄機能診断研究会 東京都 2004.2

15, 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、吉田宗人：脊髄硬膜外血腫の検討 第102回中部日本整形外科災害外科学会 松山市 2004.3

16, 安藤宗治、川上 守、橋爪 洋、南出晃人、吉田宗人：ハイドロキシアパタイト棘突起スプーサーを用いた頸椎椎弓形成術の検討 第103回中部日本整形外科災害外科学会 神戸市 2004.11

17, 築瀬能三、松崎交作、長雄好昭、大浦清夫、吉田宗人：特発性大腿骨頭壊死症に対する人工骨頭、人工股関節置換術 第102回中部日本整形外科災害外科学会 特発性大腿骨頭壊死症に対する人工骨頭、人工股関節置換術 松山市 2004.3

18, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：Summit PCR (lateral mass screw and rod system)を用いた頸椎後方固定術について

の検討 第102回中部日本整形外科災害外科学会 松山市 2004.3

19, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：頰椎後側弯変形を伴った von Recklinghausen 病の一例 第103回中部日本整形外科

災害外科学会 神戸市 2004.11

20, 松本卓二、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：後方支持組織温存脊柱管拡大術後のC7棘突起と軸性疼痛について 第103回中部

日本整形外科災害外科学会 神戸市 2004.11

21, 中川幸洋、吉田宗人、南出晃人、麻殖生和博、谷口 亘：腰椎変性すべり症に対する microendoscopic laminotomy 第102回中部整形外

科

災害外科学会 松山市 2004.3

22, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋：胸椎OPLLに対する治療 第102回 中部整形外科災害外科学会 松山市 2004.3

23, 長雄好昭、築瀬能三、中西勇人、吉田宗人：膝蓋骨非置換人工関節の検討 第102回中部日本整形外科災害外科学会 松山市 2004.3

24, 下齒英史、岡安 勤、玉置哲也、河合将紀、中谷如希、吉田宗人：フェノール・ブロックで改善した麻痺性扭股関節亜脱臼の1例 第34回

近畿小児整形外科懇話会 和歌山県 2004.7

25, 麻殖生和博、角谷英樹、角谷昭一、中川幸洋、吉田宗人：MED systemにて加療した腰部脊柱管内囊腫の治療経験 中部整形災害外科学会

松山市 2004.3

26, 麻殖生和博、角谷英樹、角谷昭一、吉田宗人、中川幸洋：内視鏡下腰椎椎間板ヘルニア手術後の再手術例の検討 中部整形災害外科

神戸市 2004.11

27, 納田和博、山田 宏、楠本幸弘、南 晋司、吉田宗人：椎間関節に発生した化膿性脊椎炎の2例 第102回中部日本整形外科災害外科学会

愛媛県 2004.3

28, 湯田啓之、麻殖生和博、石河利広、角谷昭一、吉田宗人：坐骨結節骨端症の2例 第14回関西臨床スポーツ医・科学研究会 大阪市 2004.6

29, 延與良夫、吉田宗人、安藤宗治、直川裕樹：MED法で摘出できなかった神経根奇形を伴った腰椎椎間板ヘルニアの一例 第72回和歌山医

学会総会 橋本 2004.7

30, 延與良夫、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、中川幸洋、南出晃人、岡田基宏：変性側弯を伴う腰部脊柱管狭窄症の手術成績

第16回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム 和歌山 2004.12

31, 中尾慎一、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、山田 宏：長期透析患者における脊椎手術後の合併症の検討 第102回中部日本整形外科災害

外科学会学術集会 松山市 2004.3

32, 中尾慎一、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、宮本 選：馬尾 myxopapillary ependymoma の局所再発と思われた放射線による馬尾障害の1

例

第103回中部日本整形外科災害外科学会学術集会 神戸市 2004.11

33, 本田高幹、松崎文作、築瀬能三、中谷如希、山口耕史：Wagner SL Revision Stem を用いて行った人工股関節再置換術についての検討

第102回中部日本整形外科災害外科学会 松山市 2004.3

34, 谷端友紀：軽微な外傷により発生したと考えられた小児頸髄不全損傷の一例 第72回和歌山医学会総会 和歌山 2004.7

f) その他の学会

1, 谷口 亘、築瀬能三、他：Buerger 病による距骨壊死に人工距骨を施行した1例 第72回和歌山医学会総会 橋本市 2004.7

g) フォーラム

1, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する新しい治療戦略-内視鏡による片側進入両側徐圧術- 信州脊椎疾患フォーラム2004 長野県

2004.3

2, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症患者の実態調査報告 脊柱管狭窄症フォーラム in 大阪2004 大阪府 2004.10

3, 川上 守、岡田基宏、吉田宗人、宮崎展行、田畑 孝、中村了生：これは使える？ Balloon Vertebroplasty 第16回和歌山脊椎脊髄外科

フ

フォーラム 和歌山県 2004.12

- 4, 築瀬能三、長雄好昭、勝田紘史、吉田宗人、中根康博：肩関節鏡視下手術の小経験 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山県 2004.1
- 5, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博、谷の上かや、吉田宗人、時永泰行、岩橋静江：脊椎疾患におけるMEDを用いた側臥位手術の導入 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山市 2004.1
- 6, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博、吉田宗人：C2付着筋を温存したlaminoplasty 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山市 2004.1
- 7, 山田 宏、玉置公一、岡本賢俊、筒井俊二、舟津稔博：ハローベスト固定で強直化が得られた難治性頸椎DSA病変の1例 第15回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム 和歌山市 2004.7
- 8, 山田 宏、玉置公一、平野三好、筒井俊二、舟津稔博、岡本賢俊：矢状面彎曲の矯正が遺残性腰痛の原因となった変性側彎症の1例 第16回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム 和歌山市 2004.12
- 9, 松本卓二、川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、山田 宏、岩崎 博、筒井俊二、谷口 亘：von Recklinghausen diseaseに伴った頸椎後側彎変形の1例の治療経験 和歌山脊椎フォーラム 和歌山 2004.7
- 10, 松本卓二、川上 守、吉田宗人、安藤宗治、橋爪 洋、山田 宏、岩崎 博、筒井俊二、谷口 亘：脊椎短縮術後3年6ヶ月を経過しインスツルメンテーション（ロッド）の破損をきたした症例 和歌山脊椎フォーラム 和歌山 2004.7
- 11, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、谷口 亘、峰 巨：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡下除圧術と従来法の比較検討 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山 2004.1.24
- 12, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、谷口 亘、峰 巨：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下除圧術の短期成績 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山 2004.1.24
- 13, 中川幸洋、吉田宗人、川上 守、安藤宗治、橋爪 洋、南出晃人、延與良夫、岡田基宏：腰椎変性すべり症に対する内視鏡下後方除圧術の成績 第16回和歌山脊椎脊髄外科フォーラム 和歌山 2004.12.11
- 14, 麻殖生和博、井間憲彦、角谷英樹、岩崎正文、岩崎一夫、左海伸夫、角谷昭一、中川幸洋、吉田宗人：MED systemにて加療した腰部脊柱管内囊腫の治療経験 和歌山MIOSフォーラム 和歌山 2004.1
- 15, 中根康博、築瀬能三、他：化膿性肩関節炎の治療経験 第1回和歌山骨関節筋帯フォーラム 和歌山県 2004.8
- 16, 中根康博：手指PIP 関節骨折（中節骨基部掌側骨折）の経皮的ピンニング法 第1回和歌山最小侵襲整形外科フォーラム 和歌山 2004.1
- 17, 中根康博：化膿性肩関節炎の治療経験 和歌山骨・関節・靭帯フォーラム 和歌山 2004.8
- 18, 宮崎展行、川上 守、小畑 淳、八幡孝平、田畑 孝、中村了生：下腿骨幹部骨折に対するLCPを用いたMIPO法の治療経験 第1回和歌山MIOSフォーラム 和歌山市 2004.1

h) セミナー、研究会等

[セミナー]

- 1, 吉田宗人：後方進入脊椎内視鏡手術—その適応とpitfall— 第19回瑞穂卒後研修セミナー 名古屋 2004.2
- 2, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症の自然経過からみた治療法の選択 眉山LCSセミナー 徳島県 2004.3
- 3, 吉田宗人：スポーツ選手の腰部椎間傷害に対する後方進入内視鏡手術 第8回五月セミナー学術講演会 三重県 2004.5
- 4, 吉田宗人：脊椎神経根障害への内視鏡的アプローチ 第1回長崎21世紀骨・関節痛セミナー 長崎県 2004.9
- 5, 吉田宗人：脊椎後方内視鏡手術の実際と展望 第5回秋季セミナー 三重県 2004.10
- 6, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡を用いた新しい治療戦略 日本大学実地医家のための腰痛セミナー 東京都 2004.11
- 7, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症に対する内視鏡視下除圧術の実際 第16回神戸整形外科セミナー 神戸市 2004.11
- 8, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症—自然経過からみた治療法の選択— 第6回広島整形外科セミナー21 2004.12
- 9, 吉田宗人：腰部脊柱管狭窄症患者の実態調査報告 第1回和歌山腰痛セミナー 和歌山市 2004.11

10, 中谷如希：腰部脊柱管狭窄症患者におけるスポーツ・レクリエーションの影響についての実態調査 第1回和歌山腰痛セミナー 和歌山市
2004.11

[研究会]

- 1, 吉田宗人：腰痛疾患に対する内視鏡視下後方手術の可能性 第80回整形外科金剛会 大阪府 2004.4
- 2, 吉田宗人：後方進入脊椎内視鏡手術—その課題と展望— 第44回神奈川県中央脊椎脊髄研究会 横浜市 2004.12
- 3, 山口広美、山田 宏、玉置公一、平野三好、筒井俊二、舟津稔博、後呂知美、小西友里：コハク酸メチルプレドニゾロンナトリウム（ソ
ル・メドロールR）によりアナフィラキシー様ショックをきたした1例 第5回和歌山救急・災害学会医療研究会 新宮市 2004.9
- 4, 山崎 悟、松崎交作、南 晋司、金川建彦：当院における大腿骨頸部骨折 第20回和歌山東臨床研究会症例検討会 和歌山県 2004.10
- 5, 麻殖生和博：スポーツ選手の腰椎椎間板ヘルニアに対する手術法について -早期スポーツ復帰を目指して-近畿アスレチックトレーナー研
修会 大阪市 2004.1

i) 講習会

- 1, 吉田宗人：内視鏡下ヘルニア摘出術(MED)の実際 日本脊椎脊髄病学会第2回脊椎脊髄病講習会 東京都 2004.6
- 2, 吉田宗人：変性腰椎における最小侵襲手術手技の利点と問題点 第4回ATST ミーティング 東京都 2004.7

j) ポスター

- 1, Yoshida M, Maio K, Nakagawa Y, Minamide A, Ando M, Kawakami M: Indications and clinical outcomes of posterior endoscopic surgery for
lumbar and cervical radiculopathy. 13th European Forum of GICD organized by the Board of Directors of GICD Europe
(Spine Week), Porto, Portugal, May 30-June 5, 2004

k) その他

- 1, 吉田宗人：ラジオ「痛いのに・痛いのに・飛んでけ！」 和歌山放送 月1回放送
- 2, 谷口泰徳：楽しんでます科、太閤さんの右手 毎日新聞 2004.9.19
- 3, 築瀬能三：特発性大腿骨頭壊死症の疾患の理解と治療について 和歌山保健所 2004.6.14

(研究費交付状況)

- 文部省科学研究費 基盤研究(C)(2) 課題番号：13671536 「Osteogenic protein-1(OP-1)発現遺伝子導入による椎間板変性の修復と
髄核に起因する神経因性疼痛の制御」 研究代表者 川上 守
- 文部省科学研究費 基盤研究(B)(2) 課題番号：14370474 「脊髄視床路細胞へのATPPZX 受容体感受性入力とカプサイシン VR1 受容体入力
の統合」 研究代表者 谷口泰徳
- 文部省科学研究費 若手研究(B)(2) 課題番号：14770744 「腰椎椎間板ヘルニアの吸収促進と疼痛コントロールについて」
研究代表者 橋爪 洋